

八学大短大部 学科卒業生

介護福祉士国家試験に合格を果たし笑顔を見せる介護福祉学科の2025年度卒業生



介護福祉士 10人全員合格

八戸

八戸学院大学短期大学部介護福祉学科を今春卒業した10人全員が、1月に行われた介護福祉士国家試験に合格した。合格率100%は2022年度以来2回目。同学科長の小川あゆみ教授は「学生一人一人の努力が結果に表れた。教員のサポートも的を射ており、全員合格につながった」と喜びを語った。

同学科では1年時から、定期試験問題に国家試験を見据えた内容を取り入れ、2年からは毎月模擬試験を実施。不得意分野を分析し、教員が個別指導をしたほか、対策講座を開いて難しい分野を繰り返し教えるなどしてきた。

合格発表は3月16日で、全国の合格率は70・1%。12

5点満点中64点以上が合格だった。

合格者10人中2人はインドネシア出身。4月からは10人全員が三八地域の介護福祉施設に就職し、社会人となった。新郷村の老人保健施設に就職したシャナヤ・オマラさん(21)は、試験対策として分からない単語をノートに分かりやすくまとめ、学んだ内容を何度も復習したといい「合格できて安心した。職場では利用者の気持ちに寄り添い、笑顔で安心して過ごせるように接したい」とほほ笑んだ。

八戸市の通所介護施設に就職した佐藤愛衣さん(20)は「むつ市出身は、利用者だけでなく家族や他の職員に信頼され、愛される介護士になりたい」と抱負を語った。

(千葉真由美)